

平成 30 年度第 1 回長野市歴史的風致維持向上協議会会議記録（概要）

日時 平成30年 7 月26日（木）

午前10時～正午

場所 第一庁舎 7 階 第 1 委員会室

出席委員 13 名

赤羽委員、牛山委員、北村委員、小林委員、土本委員、梅干野委員、宮下委員、清水委員、香山委員、古畑委員、林委員、羽片委員、松本委員

（2 名欠席 徳武委員、井上委員）

1 開 会

定足数の確認

2 挨拶

羽片都市整備部長

3 委員の委嘱及び紹介

4 会長及び職務代理人選出

会長に北村委員、職務代理人に牛山委員を選出

5 会長及び職務代理人挨拶

北村会長、牛山職務代理人の挨拶

6 諮 問

長野市歴史的風致維持向上計画の平成30年度進行管理・評価及び計画の変更について

7 協議事項

(1) 歴史的風致活用国際観光支援事業について

・説 明	事務局：資料 1 により、歴史的風致活用国際観光支援事業について、都市政策課から説明。
・意 見	大変素晴らしい計画を取り上げていただいた。ホームページを多言語化ということは、色々な体験活動を受け入れる受け皿の充実につながる。ぜひ進めていただきたいが、今ある真田宝物館あるいは松代文化施設等管理事務所のホームページをそのまま多言語化するのではなく、松代全体の魅力をきちんと伝えるようなホームページに作り替えた上で、善光寺や JR 長野駅から回遊して来られるようにすることも含めた多言語化をお願いしたい。ついては、十分に地

	<p>元と協議しながら進めるようお願いする。</p> <p>また、JR長野駅からの二次交通の整備と、降りた時の情報発信がなされていないので、旧松代駅舎の活用も含めた情報発信ができる拠点づくりを検討していただきたい。</p>
・回答	頂いた御意見を参考にして、各課連携を取って対応していきたい。
・意見	松代地区に旧文武学校と、ウェブの事業支援がされることは、大変嬉しいが、ピンポイントで松代だけを発信しても観光に繋がらない。善光寺・戸隠は、外国の方に非常に良く認知され、大勢訪れている。善光寺を訪れた外国人が松代などを訪れるようにするため、今後はもっと広く、善光寺・戸隠にも支援が行き届くようにしてもらいたい。
・回答	国の歴史的風致活用国際観光支援事業は来年度で終了とされているが、他の補助メニューを探しながら訪日外国人対応を進めていく必要があると考えている。
・質問	松代・若穂川田地区として捉えたときに、川田宿には松代藩の口止め番所があり、その途中に国史跡の大室古墳群がある。これらは事業対象になるか。
・回答	事業対象として入れることはできる。事業の内容を具体化していく中で検討していきたい。
・質問	大室古墳群へ至る道路はその後どうなっているのか。
・回答	地元で、新たなアクセス道路について話をし、少しずつ進んでいる状況。今後も担当部署と協議をしながら進めていく。
・意見	事業の「背景・目的」について、「何度も訪れてくれるリピーター「ながのファン」や訪日外国人観光客を獲得し」と記載されているが、訪日外国人観光客に、「ながのファン」になってもらいたいというニュアンスで記載する方が望ましい。
・回答	委員の意見を反映して記載を修正する。

(2) 平成30年度の長野市歴史的風致維持向上計画事業について

・説明	事務局：資料2により、長野市歴史的風致維持向上計画事業について、事務局及び関係課から説明。
・質問 ・意見	ZT5「善光寺表参道地域交流拠点整備事業」について、「表参道の歴史を伝える施設等を整備する。」とあるが、具体的にはどのようなものができるのか。善光寺に至る大切な場所なので、門前町、善光寺の歴史を外国人を含めてしっかりと伝えられるものを造ることを期待する。
・回答	関係機関と協議中であり、現段階では具体的にお知らせすることはできない。委員の御意見を参考にさせていただく。
・質問 ・意見	ZT11「弥栄神社の御祭礼屋台巡行支援事業」について、収蔵庫の建設の助成の記載を削除するということであるが、後町ホールにできた収蔵庫が昨年完成したので削除するということか。他町の屋台もあるので、組み立てた状態で収蔵できるようなところを整備して欲しい。

・回 答	今年度は、収蔵庫の建設の補助は予定していない。
・意 見	ZT18「城山公園再整備事業」で、善光寺東側の土塁を一部撤去したいという話があったが、歴史的な遺構ではないのか。歴史的に評価できるものであれば、撤去してしまうというのは、歴史的風致維持向上計画と矛盾することになる。歴史的にどう位置付けるかをもう少し吟味する必要があるのではないか。
・回 答	土塁全部を崩すというわけではなく、交差点の土塁の数メートルを削って公園との一体化を図る計画である。サイン計画において、土塁の周知も行う予定である。土塁の歴史的な価値については、埋蔵物の保護行政の中できちんと対応する。
・意 見	MK5「伝統環境保存事業」に関し、伝統環境保存区域に指定されている区域に開発が進んできており、江戸時代に築造された門が宅地開発のために解体されようとしている。行政と地元が連携し、滅失を防ぐための早い対応をお願いする。 また、泉水・泉水路について、神田川からの取り入れ口から水がうまく入ってこない。健全な状態での保存に対する公的補助などについて、地元と協議をして対応していただきたい。
・回 答	江戸時代に築造された門が解体される危機に瀕しているが、行政側への開発の届け出は、開発行為がほぼ決まっている状況で上がってくるが多いため、防ぐことが難しい。 今後は開発行為を行う前に情報を拾い上げる仕組みが必要であり、地元と協力しながら対応策を考えていきたい。 泉水・泉水路については、長年課題となっている。池や水路の改修については個別に補助金を出しているが、水路全体を管理している管理団体が無い状態なので、行政としても苦慮している。地元と共に泉水路全体を残していける方策を考えていきたいので、御協力をお願いする。
・意 見	MK7「旧文武学校保存整備事業」の説明資料の写真に、自転車用のヘルメットを工事現場用に代替して使っている状況が写っているが、事故防止の上で問題は無いのか。
・回 答	歴史的建造物の工事現場の見学における装備について、きちんと調べた上で実施していく。
・意 見	K1「彫工北村喜代松制作の屋台等保存・公開活用事業」について、なお一層の宣伝と、鬼無里地区だけでなく、祇園祭で活用されている祭り屋台の保存等にもなお一層の力を、行政として入れていって欲しい。
・回 答	彫工北村喜代松の屋台の紹介コーナーについては、順次充実した説明を追加していきたい。
・意 見	多くの外国の方に善光寺、戸隠、松代、鬼無里を訪れていただきたいが、それぞれのホームページはしっかりできていても、善光寺に来た方が鬼無里や松代に回遊できるような、総合的なものはできていない。対応をお願いする。
・回 答	市内を回遊してもらえようような取り組みとして、ホームページの修正等を行っていききたい。

- | | |
|-----|---|
| ・意見 | 小学生の親子に大室古墳群を案内したところ、市内にこんなに素晴らしい場所があったのかと驚いていた。日本一の古墳群を、市民を含め多くの方に知っていただくため、色々な部署で宣伝してもらいたい。 |
| ・回答 | 文化財の保存活用と観光面で行き届いていない点を踏まえ、どんどん改善していきたいと考えている。 |

(3) 長野市歴史的維持向上計画の進行管理・評価の実施について

- | | |
|-----|---|
| ・説明 | 事務局：資料3により、長野市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価の実施について、事務局から説明。 |
|-----|---|

8 その他

事務連絡

- ・第41回全国町並みゼミ長野松代・善光寺大会について
平成30年11月16日から18日まで、松代のロイヤルホテル長野をメイン会場に第41回全国町並みゼミ長野松代・善光寺大会を開催する。
- ・今後の協議会開催予定について
計画の進捗評価及び計画変更について審議をいただくため、平成31年2月頃の開催を予定している。

9 閉会

文化財課 小柳課長